

宇田雄一「古典物理学」

29 [ $h_0(P_1, \dots, P_n; S(A_1)^{-1})$  and  $h_3(E'; S(A_1)^{-1}, U(A_2)^{-1})$ ] を自然の固定的な部分の歴史または環境条件と呼ぶこととする。35  $\mathcal{M}$ を次式で定義する。 $\mathcal{M} \in \mathcal{H}(\mathcal{F})$  and  $[\forall f' \in \mathcal{F}; \mathcal{M}(f') = h_2(P_1, \dots, P_n; f'; S(A_1)^{-1})]$  36 空欄。37 空欄。

38  $\forall f' \in \mathcal{F}; [\mathcal{L}(f')]$  によって次の文を表すこととする。  
 $\exists f \in F_2, n; \exists E \in F_3; f' = [V_{2, n}(A_1, 1)](f)$  and  $E' = [V_3(A_1, A_2)](E)$   
and  $e_2(f, E, \mu(P_1, \dots, P_n, I, J))$  ]

39 空欄。

$T_3(Q_1, \dots, Q_n; Y; S, U, J)$  に以下の変更を施して出来上がった理論を  $T_3(Q_1, \dots, Q_n; Y'; S, U, J; A_1, A_2)$  と名付けることとする。

変更点: 18  $\forall \xi' \in N_{01}; \forall P':$  時空点;  $[P' = [S(A_1)^{-1}](\xi') \Rightarrow [\xi'(4) \text{ を } P' \text{ の時刻と呼び、 } \xi'(3) \text{ を } P' \text{ の空間座標と呼ぶこととする}]$  27  $\{h_3(f'; S(A_1)^{-1}, U(A_2)^{-1}) | f' \in F_3\}$  の元を自然の可変的な部分の歴史と呼ぶこととする。29 [ $h_0(Q_1, \dots, Q_n; S(A_1)^{-1})$  and  $h_2(Q_1, \dots, Q_n; Y'; S(A_1)^{-1})$ ] を自然の固定的な部分の歴史または環境条件と呼ぶこととする。35  $\mathcal{M}$ を次式で定義する。 $\mathcal{M} \in \mathcal{H}(\mathcal{F})$  and  $[\forall f' \in \mathcal{F}; \mathcal{M}(f') = h_3(f'; S(A_1)^{-1}, U(A_2)^{-1})]$  36 空欄。37 空欄。

38  $\forall f' \in \mathcal{F}; [\mathcal{L}(f')]$  によって次の文を表すこととする。  
 $\exists f \in F_3; \exists Y \in F_{2, n}; f' = [V_3(A_1, A_2)](f)$  and  $Y' = [V_{2, n}(A_1, 1)](Y)$   
and  $e_3(f, Y, \nu(Q_1, \dots, Q_n, J))$  ]

39 空欄。

$T_4(P_1, \dots, P_n; S, U, I, J)$  に以下の変更を施して出来上がった理論を  $T_4(P_1, \dots, P_n; S, U, I, J; A_1, A_2)$  と名付けることとする。

変更点: 18  $\forall \xi' \in N_{01}; \forall P':$  時空点;  $[P' = [S(A_1)^{-1}](\xi') \Rightarrow [\xi'(4) \text{ を } P' \text{ の時刻と呼び、 } \xi'(3) \text{ を } P' \text{ の空間座標と呼ぶこととする}]$  27  $\{h_4(P_1, \dots, P_n; f'; S(A_1)^{-1}, U(A_2)^{-1}) | f' \in F_{4, n}\}$  の元を自然の可変的な部分の歴史と呼ぶこととする。29  $h_0(P_1, \dots, P_n; S(A_1)^{-1})$  を自然の固定的な部分の歴史または環境条件と呼ぶこととする。